



# 校長室の窓

令和8年7月2日(木) 第3号

早いもので、7月に入りました。ご多用のこととは存じますが、明日の学習参観にぜひご来校いただきますようお願いいたします。

日々のニュースに目を向けると、地震や台風、学校での火災など、日々の備えを考えさせられる出来事が報じられています。様々な情報があふれ、目まぐるしく状況が変わる社会の中で、子供たちに、そして私たち大人にも強く求められているのは、必要な情報を「しっかりと正確に聴き取る力」ではないでしょうか。

相手の言葉を正しく受け止め、理解することは、学びの土台であり、人との信頼関係を築く第一歩です。そこで、今朝の朝会では、学校生活の基本でもある「話の聴き方」について話をしました(一部抜粋)。

今、明石台小のみなさんに、特に大切にしてほしい「聴き方」が二つあります。

一つ目は、「お話を途中で横取りしない」ことです。友達の話がが続いているとき、「あっ、それ知ってる!私も…。」「僕はね…。」と言いたくなっても、そこをぐっとこらえて、最後の「。(まる)」が付くまで、静かに聴く。それが、お話を聴く人の優しさです。

二つ目は、「話に反応しながら聴く」ことです。「なるほど」「そうなんだ」と、首をコクコクと縦に振ったり、笑顔で反応したりしながら聴く。そうすると、話している人は「あ、私の話をしっかり受け止めてくれているな。」と、とっても安心します。



明日の学習参観では、そんな「最後まで、話に反応しながら聴く、かっこいい姿」をおうちの方へのプレゼントにしましょう。

「最後まで聴く」「話に反応しながら聴く」という姿勢は、相手への思いやりの心そのものです。とはいえ、ご家庭では家事や仕事などでお忙しく、お子様に話し掛けられなくても「今すぐ手を止めて、じっくり聴く」というのが難しい場面も多々あります。そんなときは、「これが終わったら、聴かせてね」などと声を掛け、少し時間ができたら、うなずきながら最後まで耳を傾ける時間を作っていただければと思います。

一番身近な大人である私たちの「あなたの話を聴こうとしているよ。」という姿そのものが、子供たちにとっての安心感となり、最高のお手本につながっていくと思います。

夏休みまで、約2週間となりました。気温の高い日が続きます。子供たちの安全・安心には、周りの大人の健康が欠かせません。どうぞご自身の健康にもご留意ください。